

情報 119 【2026年5月号】



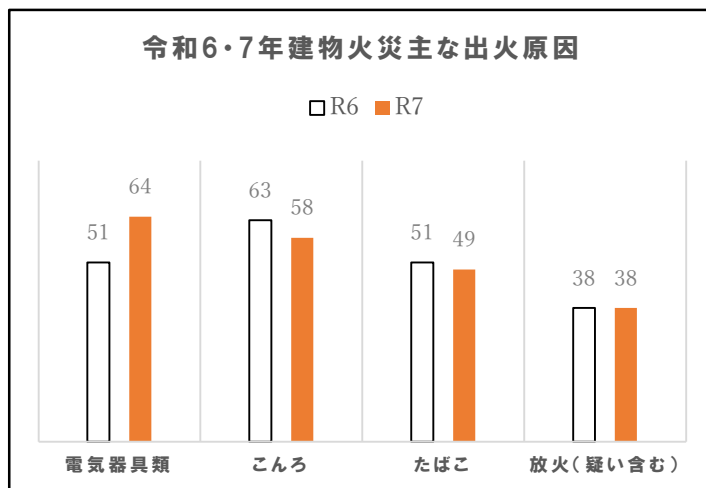
- 北消防署からのお知らせです -

名古屋市北消防署
TEL 981-0119

▶ 増加する火災リスクに備えを！

令和7年中、名古屋市内の建物火災は343件発生し、その原因は電気器具類64件、コンロ58件、たばこ49件、放火（疑い含む）38件でした。特に電気器具類による火災は増加傾向にあります。

こうした火災リスクの多くは、私たちの身近に潜んでいます。かけがえのない命と住まいを脅かす「住宅火災」を防ぐため、以下のポイントを日ごろから徹底しましょう。



▶ 電気・コンロ火災を防止する、5つの徹底ポイント

【電気火災】

- ・コンセント周りをこまめに掃除する。
- ・たこ足配線で1500Wを超えない。
- ・コードを家具の下敷きやドアに挟まない。
- ・古い家電のリコール情報を確認する。
- ・使わない時はプラグを抜く。

【コンロ火災】

- ・火を使っている間はその場を離れない。
- ・安全装置付きコンロを使う。
- ・周囲に紙やスプレー缶などを置かない。
- ・袖などが広がった服で調理しない。
- ・排気口や周囲の油汚れをこまめに掃除する。

▶ 住宅用火災警報器：命を守る「最後の砦」

日頃の火災予防に加え、万が一の際の「早期発見」が被害を最小限に抑えます。本人だけでなく家族や近隣住民が警報音に気づき、火災を未然に防いだ事例が多く報告されています。自分と大切な人を守るため、以下の2点を徹底しましょう。

設置の徹底：未設置の場所がないか確認。

定期点検：ボタンを押して音が鳴るか定期的にチェック。

★10年を目安に取替もお願いします。

平成18年2月1日から令和7年12月31日住宅用火災警報器の奏功事例

